

徘徊お知らせ感知くん 『HS-103』／『HS-103(KE)』 『HS-106』／『HS-106(KE)』

このたびは、本製品をお買い求め頂きましてありがとうございます。
ご使用前にお読み頂き、正しいご使用をお願い申し上げます。

＜お知らせ＞ セット商品である「携帯型受信機」を仕様変更しました。
特長は、本体をよりコンパクトにし、ブザーとバイブレーターの併用が可能になりました。
また、お知らせ時間の選択が可能です。(20秒／2分／5分／10分)

1. 商品説明

本製品は、送信機と受信機(設置型／携帯型)の組み合わせ製品です。
すぐご使用頂けるよう、**あらかじめ電波登録設定しています。**

センサーエリア内を横切ると電波送信し、100m以内の受信機でお知らせします。
(ただし、鉄筋の建物内など周囲の状況により、距離が短くなる場合があります。)

徘徊されるご老人の事故防止や来客のお知らせに使用いただけます。

この説明書と製品毎の取扱説明書を合わせてご参照下さい。

※本製品は送信機、受信機各1台のセット品です。システムに合わせて、それぞれ追加が可能です。

2. セット商品

センサー送信機2種類と、受信機2種類による、4種のセット製品です。



セット名	センサ送信機	受信機
HS-103 (EA864CE-46)	TX-103	HC-300
HS-103(KE)		RXF-60K
HS-106 (EA864CE-48)	TX-106	HC-300
HS-106(KE)		RXF-60K

3. 設定

徘徊される方のお知らせを目的とし、すぐに利用していただけるようにあらかじめ設定や電波登録をしています。

品番	レンズ	HC-300	RXF-60K
HS-103/HS-103(KE)	分割レンズ	4ch目ポロロン音に登録済み	ピピピ音登録済み バイブレータON/20秒モード
HS-106/HS-106(KE)	Wレンズ		

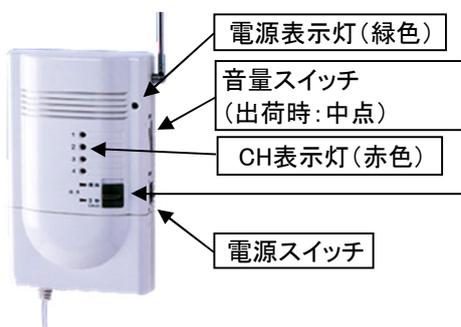
4. 送信機の操作設置

各々の取扱説明書をご参照下さい。
特に電池の接続忘れ、取付、エリアの設定にご注意ください。

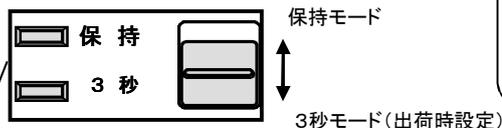
品番	使用電池	電池寿命
HS-103/HS-103(KE)	リチウム電池 U9VL×1	約2年(1日100回送信回数として)
HS-106/HS-106(KE)	単3アルカリ電池 LR-6×2	約2年(1日100回送信回数として)

5. 受信機の操作 * 本体添付の取扱説明書も合わせてご参照願います。

◎設置型受信機『HC-300』



出力設定スイッチ



※3秒モード時は、受信を確実にするため2度受信します。このため、音が重なって鳴動します。

保持

- ・登録チャイム音が鳴り続けます。
- ・CH表示灯が点灯し続けます。
- ・受信後は、出力設定スイッチを「3秒/リセット」側にするか、電源をOFFにすることで復旧します。

3秒(リセット)

- ・登録チャイム音が約6秒間鳴ります。
- ・3秒でCH表示灯は消えます。

※出荷時は4ch(ポロロン音)に登録済です。

(追加または変更の際は受信機『HC-300』の取扱説明書もしくは添付「チャイム音の変更と送信機の追加」をご参照ください。)

◎携帯型受信機『RXF-60K』



・電源ボタンを4秒以上押し、電源をON状態にするだけですぐにご使用できます。(電波登録済みです)
(ご使用になる前は本機に専用電池を入れ、充電を行って下さい。RXF-60K取扱説明書P5ご参照)

・送信機の電波を受信し、「ピピピ」音が20秒間鳴動及びバイブします。(チャンネル1ch/出荷時)

各設定の 出荷時設	受信周波数 : F1 警報音量 : 大 警報時間 : 20秒 バイブレーター : ON
--------------	--

* 設定変更の方法など、詳細は『RXF-60K』付属の取扱説明書をご覧ください。

6. オプション 中継機「RTX-100-S」「RTXF-300」

- ・送信機からの電波が届かない、または届きにくい場合にご使用ください。
中間に1台設置すると、見通し100m電波距離を延長できます。
- ・「RTX-100-S」は、最高2台まで使用出来ます。(非登録式で、簡単に設置できます。)
- ・「RTXF-300」は、中継台数は無制限です。(登録式で、設定が必要です。)



RTX-100-S



RTXF-300

7. 電池の交換

- ・送信機が電池切れになると、送信機本体の表示灯が点滅し、設置型受信機では表示灯が緑色点滅してチャイム音が断続的に鳴動します。携帯型受信機では液晶表示します。ただちに電池を交換してください。
- ・電池の交換につきましてはそれぞれの送信機の取扱説明書をご参照ください。

8. ご注意

※設置型受信機「HC-300」／携帯型受信機「RXF-60K」 使用上の注意

- ・本機は屋内専用です。雨のかかる場所や湿気の多い場所で使用しないで下さい。
- ・テレビやラジオ、パソコン、モニター等からは1m以上離してください。
- ・電波到達距離は見通し約100mです。設置場所の建物の構造や受信機との間の障害物など周囲の環境により到達距離が短くなる場合がありますのでご注意ください。
- ・携帯型受信機は、送信機からの電波が届かない場所に持ち出された場合、受信することが出来ませんのでご注意ください。必ず持ち運ばれる範囲で送信機からの電波を確実に受信出来るかをご確認下さい。

9. よくあるご質問 (各取扱説明書「点検方法」とあわせてご参照ください)

- 全く動作しません
 - ・送信機は電池を入れて約1分間(HS-103は約2分間)は動作しません。
 - ・電池が消耗していませんか？
 - ・センサーの前に遮蔽物が置かれていたり、カバー表面が汚れてはいませんか？
- 受信機が鳴りません
 - ・受信機の電源は「入」になっていますか？ボリュームが最小になっていませんか？
 - ・受信感度が弱くなっていませんか？(受信機⇄送信機が離れすぎている など)
- 人が通らないのに動作します
 - ・犬や猫などの小動物でも検知しますのでご注意ください。
- 受信機や送信機は増やせますか？
 - ・小電力シリーズ製品であれば受信機に登録することにより様々な組み合わせで使用することが出来ます。

※詳細は、各単品製品の取扱説明書をお読み頂き正しいご使用をお願い申し上げます。

■免責事項

- 本商品は、快適な生活をお手伝いするヘルスケア用機器で医療用機器、災害防止用機器ではありません。ご使用上で、万一発生した人身事故、災害事故、環境破壊事故などによる事故損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本商品の取り付け、取り外し時の事故で発生した怪我、損害については弊社は一切責任を負いません。
- 本商品の取り付け、取り外しによる建物等への損傷についても弊社は一切責任を負いません。
- 地震・雷(誘導雷サージを含む)および弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失、通信機会の消失など)に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 保守点検の不備や、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本商品に関し、いかなる場合も弊社の費用負担は、本商品の価格内とします。

京都市山科区東野五条通外環西入83-1
竹中エンジニアリング株式会社
ヘルスケア事業部
TEL (075)593-3172

チャイム音の変更と送信機の追加

HS-103・106用
資NO.S-168-5

※HS-103/106(KE)は携帯受信機RXF-60Kの取扱説明書をご参照願います。

1. お知らせチャイム音を変更する場合

1. 出荷時は「ポロロン」音に登録されていますので**先ずこの音を消去します。**
2. 受信機には1ch「ピンポーン」音、2ch「ピピッピピッ」音、3ch「プルプル」音、4ch「ポロロン」音があります。
3. 登録スイッチを押し、**鳴っているタイミングで送信(登録のしかた②参照)**させて登録します。
必ず最後は順番⑥「ピー」(終了音)まで押して下さい。

例、1ch「ピンポーン」音に変更する場合

1. 消去のしかた まず「ポロロン」音を消去します。以下の番号①～⑥の順番でお願いします。

① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥

名称	登録スイッチ	登録スイッチ	登録スイッチ	登録スイッチ	消去スイッチ	登録スイッチ
写真						
動作	押す	押す	押す	押す	一秒以上押す	押す
鳴動音	ピンポーン	ピピッ、ピピッ	プルプル	ポロロン	ブーツ	ピー(終了音)

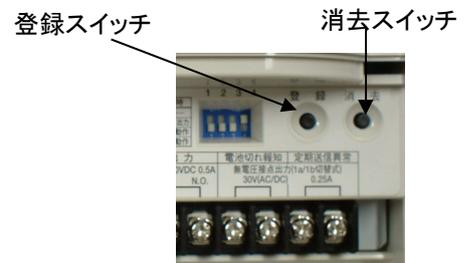
2. 登録のしかた 以下の番号①～⑥の順番でお願いします。

① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥

名称	登録スイッチ	HS-103	HS-106	登録スイッチ
写真		→ 電池を接続し、約2分間お待ち下さい。 2分経過したらセンサー上で手をゆっくり動かして下さい。 検知すると電波送信します。	→ 電池を接続して約5秒お待ち下さい。 定期送信電波を送信します。	
動作	押す			押す
鳴動音	ピンポーン			ピピッ、ピピッ

→ ④ → ⑤ → ⑥

名称	登録スイッチ	登録スイッチ	登録スイッチ
写真			
動作	押す	押す	押す
鳴動音	プルプル	ポロロン	ピー(終了音)



最後にもう一度動作確認をしてください。以上で終了です。

※ご注意: 送信機と受信機の間は1m以内で行ってください。

2. 送信機を追加する場合

送信機は30台まで登録できます。以下の番号①～⑥の順番でお願いします。

例、送信機を追加して2ch「ピピッ、ピピッ」音に登録する場合

① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥

登録スイッチ	登録スイッチ
押す	押す
ピンポーン	ピピッ、ピピッ

- ③ ・電池を接続して約2分間お待ち下さい。
2分経過したらセンサーの上で手をゆっくり動かして下さい。
(HS-103)
- ・電池を接続すると約5秒後に定期送信電波を送信します。
(HS-106)

鳴動音:「ピピッ、ピピッ」

④ → ⑤ → ⑥

登録スイッチ	登録スイッチ	登録スイッチ
押す	押す	押す
プルプル	ポロロン	ピー(終了音)

以上で終了です。

ご注意: すでにチャイム音を登録されている送信機は再度登録できません。
いったん消去してから再度登録してください。